

[所 感]

長崎市議会議員 田中 洋一

長崎市と中国福建省の省都福州市との友好都市提携 30 周年を記念した長崎市公式訪問団の一員として、8 月 23 日から 5 日間の日程で福州市を訪問しました。

訪問団は公式訪問団 38 名、経済訪問団 38 名、市民訪問団 20 名の合計 96 名の大部隊でしたが、訪問期間中いたるところで大歓迎を受け、友好の絆を一層強めて帰国しました。

福州市に到着して最初に驚いたのは、空港から市内のホテルに向かう専用バスの先頭にパトカーがつき、殆どノンストップで走ったことである。このようなVIP待遇の扱いは、福州市に滞在中ずっと続きました。また、第1日目の歓迎レセプションに袁 榮祥人民政府委員会書記が出席したのにも驚きました。福州市の招待にもかかわらず、福州市長ではなく、袁 榮祥人民政府委員会書記が福州市側のトップとして出席たことに、先方の歓迎の大きさを計り知ることができました。

訪問期間中多くの人たちと交流し、また、都市の発展の様子を目の当たりにし、驚きの連続でした。今回の公式訪問団の訪問を通じ、両自治体の友好が一層強まることを確信した今回の公式訪問でした。